

家庭教育学習資料を活用した 親育ち・子育て学習講座

子育ては悩みの連続

- 交友関係
- しつけの仕方、叱り方
- 幼稚園での集団生活
- 親同士の人間関係
- 遊びの内容
- 子どもの変化への対応等

語り合い
学び合い

親育ち・子育て学習講座

家庭教育学習資料

- 親自身に関する課題
- 親子関係に関する課題
- 親子と地域との関係に関する課題

◎参加者自身や子どものエピソード、悩み等を本音で語りましょう。
◎他の親の話にもしっかりと耳を傾け、子どもの様子と重ね合わせ、親として何が
できるかを考えてみましょう。

実践

「親育ち」

- 子どもの個性や特質を子どもの様々な出来事やエピソードから把握し、理解する中で、子どもとどのように関わり、接していくかを学ぶ。
- 子どもの小さなトラブルやエピソードに付き合いながら、子どもの成長に伴って生ずるトラブルに、子どもが独立するまでの間、親として付き合っていく決意と姿勢を形成する。
- 自己および家族の長・短所を認識し、長所を生かし他の親、家族に貢献できることを見出す。また、短所を支えてくれる人間関係を築く。

■ テーマ設定について

親の悩み

交友関係

- 乱暴である。(叩く、物を放る、蹴る等)
- おとなしくて他の子と遊べない。
- 特定の子としか遊べない。
- わがままで協調性がない。よく〇〇ちゃん嫌いと言う。
- 友だちに意地悪されたとよく言う。
- 友だちにえらそうな言い方をする。
- 勝手に物を交換してくる。

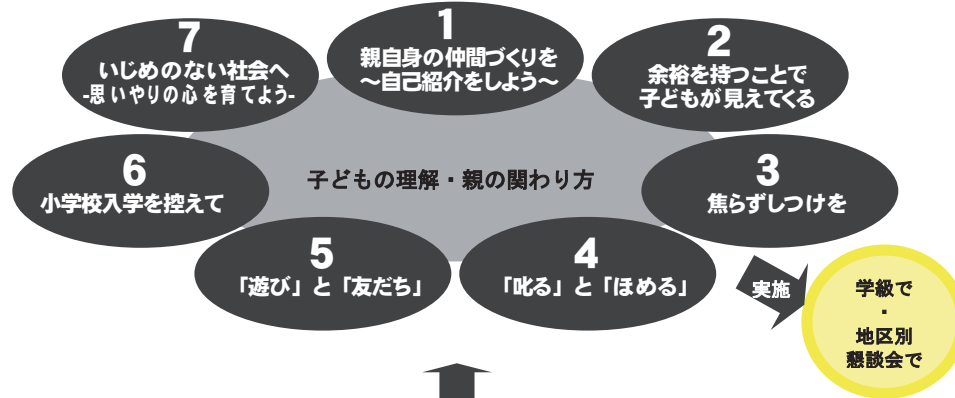
親同士の人間関係

- 親しくない親を敬遠する。
- グループを作り、陰で他の親子を中傷する。
- 親同士が親しくないと、子ども同士が遊べない。

しつけの仕方・叱り方

- 親の言うことを聞かない。
- 大声を上げて泣き叫んだりする。
- 弟や妹をいじめる。
- 話をしない。
- 絶対自分の言い分を通そうとする。悪かったとは認めない。
- どのように声をかけてよいかわからない。
- 泣く子のあやし方がわからない。
- 子どものしていることが待てない。
- 親の感覚で叱ってしまう。
- 嘘を平気でつく。

テーマ



子どもの姿と親の留意点

この時期、子どもは、それまで家庭で培われた人間関係や興味・関心を、幼稚園をはじめとする新しい人間関係の中に展開させていきます。自分の好きなことにはどんどん挑戦しやり遂げようとするので、いろいろな遊びをのびのびと体験させて、自主性や自信、集中力、友だちと関わる力を身につけさせたいものです。

一方で、自己表現や人の気持ちの理解はまだ十分にはできないので。友だちとのいざこざなども一時増加します。ときには嘘をついたりもしてしまいます。タイミングをうまくとらえて、してはいけないことやその理由をきちんと繰り返し伝えることで、徐々に自分を制御できるようになり、思いやりの気持ちも身につけてきます。

親の方でも社会のルールとして何を教えるか、きちんと考えておきたいものです。この時期は、個人差も大きいので、子どもの様子をよく見て理解し、その子に応じた支え方を考えるとよいでしょう。